

市民クラブ市政報告

発行：姫路市議会市民クラブ 姫路市安田四丁目1番地 ☎：079-221-2042 編集責任者：竹尾 浩司



お世話になります。
皆様にご支援・ご支持頂き活動を進めております、『姫路市議会 市民クラブ』の仲間です。

今回は、『令和4年度予算編成に対する会派要望』、『令和3年度姫路市一般会計補正予算(第9回・10回)』、『姫路市に松岡議員に対する刑事告発を求める決議』、『不当要求行為等を行った松岡市議・三木市議に対する辞職勧告決議』。

そして11/25～12/21までの27日間で開会された、『令和3年第4回姫路市議会定例会』での個人質問についてご報告致します。

I. 『令和4年度予算編成に対する会派要望』について

私たち市民クラブは、令和4年度の姫路市予算編成に対し、勤労者・生活者に視点を置き、**重点62項目・優先130項目**と非常に多くの項目について『夢と希望と誇りがもてる姫路市』の実現のために予算要望会を実施致しました。

<要望会>
各担当部局…令和3年10月25, 27, 29日
清元市長他…令和4年1月5日



【会派要望の様子】

II. 『令和3年度姫路市一般会計補正予算(第9回・10回)』について

- ・「生活困窮者自立支援事業」について、令和3年6月に生活困窮者自立支援金制度が創立され、支給を行っているが、今回、新たな経済対策として本支援金の受付期間の延長及び再支給を行う。
- ・「臨時特別給付金給付事業」について、住民税非課税世帯及び家計急変世帯に対し、1世帯当たり10万円の現金を給付する。
- ・「子育て世帯臨時特別給付金給付事業」について、高校生までの子どもがいる世帯に対して、子ども一人当たり10万円の現金給付を行う。**※公務員、高校生、新生児については、申請受付後、順次、振込み予定。**

III. 『姫路市に松岡議員に対する刑事告発を求める決議』について

特別委員会の審査において明らかになった松岡議員の言動に関して、弁護士である法的助言者から、「入札妨害罪」・「威力業務妨害罪」に該当するとの指摘を受けた。特別委員会としては、刑事告発が必要であると考え、議会には特例を除けば告発権を有しないため、姫路市に対して松岡議員に対する刑事告発を行うことを強く求めた。

IV. 『不当要求行為等を行った松岡市議・三木市議に対する辞職勧告決議』について

市議会は定例会最終日に「不当要求行為と議員政治倫理条例の政治倫理基準違反に認定された松岡市議・三木市議に対する辞職勧告決議案」を全会一致で可決した。しかし、法的拘束力はなく、2市議は辞職しない意向である。

V. 『令和3年第4回姫路市議会定例会』での個人質問について

駒田かすみ議員が質問しました

不当要求に繋がらない
内部統制の在り方について質す！

【個人質問：質問日 12/3】

本定例会にて、4項目について個人質問しました。『姫路市内部統制の在り方について』『SDGs 未来都市に向けた取組と自治体ポイントについて』『今後のDMOと官民連携』の3件についてご報告します。

● 姫路市内部統制の在り方について

Q: 現在は内部統制の対象となっていない教育委員会事務局や今後下水道局と統合される水道局等についても内部統制評価を行うべきでは？

A: 現在は地方自治法に基づき、市長部局の財務に関する事務のみを内部統制の対象とし、それ以外については姫路市リスク管理基本方針に基づきリスク管理を行っているが、更なるリスク管理の必要があることから、今後は任命権者と市長部局とで体制について協議・検討を行う。

Q: 公益通報制度の対象となる範囲の周知徹底や、外部からの通報相談窓口等、今後の取扱い方針は？

A: 公益通報は市職員だけではなく、指定管理者や市の業務の受託者なども可能であることや、通報は職員倫理課長のほか、市の顧問弁護士にも行うことができることなど、十分に認識をされていない点もあると思われることから、職員倫理週間等の取組を通じて、制度全体のさらなる周知・徹底に努める。

● SDGs 未来都市に向けた取組と自治体ポイントについて

Q: 軽四キャブバン等更新時に乗車人数に応じ超小型電気自動車の導入は？

A: 公用車の超小型電気自動車への更新は、環境負荷の軽減に貢献できる取組と考えられるため、実際の乗車人数や走行距離、稼働率等の利用状況、ガソリン車との価格差など、課題を洗い出した上で、環境に配慮した車への移行について研究していく。

Q: 姫路市のデジタル化に関する方針とひめじプラスの今後の方向性は？

A: 市民一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せを実感できる社会を目指し、「誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化」を進めていく。また、ひめじプラスとひめじポイントアプリとの統合を含めて、プッシュ通知による情報発信機能を積極的に活用し、快適に操作できるポータルアプリの導入を目指す。

● 今後のDMOと官民連携について

Q: 観光コンベンションビューローがDMOとして観光情報等を発信していくに当たり、SNS等での攻めたPRが必要では？

A: MICE 誘致に向けた受入体制の構築に取り組むと共に、姫路観光コンベンションビューローの特性を生かし、テレビや映画などのロケ地を活用したPRや、著名なインフルエンサーによる情報発信、Instagram やユーチューブの活用などにより、即効性や話題性があり、かつ効果的な攻めたプロモーションを実施していく。



蔭山敏明議員が質問しました

行財政改革の推進について
強い決意で清元市長は決断をせよ！

【個人質問：質問日 12/7】

清元市長に、道徳的勇氣と鉄の意志と愛されなくてもよいとの覚悟をもって「行財政大改革」の決断をお願いするとの趣旨で、本定例会にて6項目について個人質問しました。

その中から、①学校の統廃合 ②手柄山中央公園回転展望台撤去 ③中央卸売市場跡地の借地契約解除の3件についてご報告します。

● 姫路市立高等学校3校の統廃合について

Q: 市立3校については「在り方審議会」で議論されているが、令和2年度の決算では高等学校費として15億円を超える費用が掛かっている。校舎も老朽化している。生徒数も半分近くになっている。思い切った予算を投入して、一つに統合すべきだと思う。

A: 教育委員会としては審議の途中だが、県で県立高校の規模や配置について検討されており、これらも踏まえて次代を担う姫路市の子供たちにより良い教育を提供できるよう、魅力ある市立高等学校づくりを進めていく。

● 手柄山中央公園回転展望台の撤去について

Q: 手柄山中央公園整備基本計画の中で、公園のシンボルとして存続するとなっているが、建設後50年もたつて老朽化している。この施設は高度な伝統技術や著名な建築家の設計でもない。手柄山のシンボルは間違いなく空爆犠牲者慰霊塔だ。回転展望台の維持管理費はいくらと試算されていますか。私は存続には反対で撤去すべきだと思う。

A: 回転展望台は公園のシンボルとしてモニュメント的な活用をしている。現状では、補修の必要はない。当面は十分な安全管理に努めていく。第2期公園整備の検討に合わせて再検討を行うと考えている。

● 中央卸売市場跡地の借地利用は反対

Q: 現在、新中央卸売市場が建設中だが、旧卸売市場跡地は借地で昨年の借地料は1億3千万円を超えている。昭和54年からの累計借地料は63億円だ。跡地を公共事業で利用するとしても借地での利用には反対だ。

A: 跡地活用は具体的な方針は決まっていない。公共施設として活用する場合でも、公共施設等総合管理計画で新規の借地は原則禁止となっている。基本的に借地利用は考えていない。

